

平成 17 年度 春期 テクニカルエンジニア（システム管理） 午後 解答例

この解答例は、独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターが公表しているものです。著作権は、同センターにありますので、その点ご注意ください。

問 1

情報システムの重要性が高まるにつれて、障害発生時の影響は大きいものになっている。障害発生時の迅速な対応に加えて、障害再発防止策の検討・実施は、システム管理エンジニアの重要な業務である。

本問は、システム管理エンジニアが主体的に行うべき障害再発防止策のうち、システム運用面での障害再発防止策を主題にしている。特に、障害発生時の根本原因、及びシステム運用面からの障害再発防止策とその検討経緯について、具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、システム管理エンジニアに必要な、根本原因を究明する能力、障害再発防止に関する技術知識、再発防止策を立案する能力などを評価する。

*

問 2

情報システムの多様化に伴い、利用者の利便性向上のためにヘルプデスクサービスを拡大する場合、問合せへの対応に加えて、各種の要望への対応や運用に関する情報の提供などを行う必要がある。

本問は、このようなサービスを実現するために、ヘルプデスクだけでなく、関連部門と連携して、業務効率を考慮しつつ実施したサービス範囲の拡大について、具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、システム管理エンジニアに必要な、ヘルプデスク運営経験、課題把握能力、問題解決策立案能力、関連部門との調整能力を評価する。

*

問 3

情報システムで取り扱う情報が広範囲になるにつれて、漏えいした場合に大きな問題となる機密性の高い情報が多く含まれるようになってきている。システム管理エンジニアには、このような機密性の高い情報の漏えいに関する対策に積極的に関与することが求められる。

本問は、情報漏えいのリスクを明確化していく過程、及びシステム管理エンジニアが主体的に取り組むべき漏えいを防止するための対策と漏えいした場合の損害を最小限に食い止めるための対策について、具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、システム管理エンジニアに必要な、関係者との連携による情報漏えいリスクの把握能力、情報漏えいに関する対策についての技術知識、対策の立案能力などを評価する。

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。